

た市民ら約130人が、寺天満宮を出発。「エドときを上げるなどし歩いた。夏の陣(1615年)の皮合戦の舞台。2016年だったが、17年から時

代を拡大。4日は真田幸村など合戦ゆかりの武将のほか、道真や奈良時代の遣唐留学生で藤井寺市が故郷とされる井真成らが登場した写真。地元に住む藤田由美子さんは「市の歴史が楽しめて良かった」とうれしそうだった。



北 播

日本記念日協会認定の「アクティブシニアの日」の6日、大阪市中央区の理美容機器メーカー「タカラベルモント」のショールーム「TB-SQUARE」で、シニアの美容をテーマにした「鯉(恋?) 幟パーティー」が開かれた。

「おしゃれな人は元気」をあいことばに、中高齢者をはつらつとさせるのが目的。京阪神の主婦ら約150人が参加。5人の講師が登場し、骨格にあった衣服の選び方、美しい歩き方や立ち方、中高年のメークアップの方法などについて学んだ。【西村浩一】

シニアもはつらつと

中央区 美容講座に150人



大画面を見ながら、メークの話聞く参加者たち—大阪市中央区で



香港で行われたイベントでパフォーマンスを披露する藤田玉蘭さん

毛筆で書的美を表現する楽しさを世界の人に知ってもらおうと、大阪市の書道家らが仮

想現実(VR)と日本の伝統文化「書道」を融合した新しいデジタルパフォーマンスに挑

戦している。使うのは目を覆うVRゴーグルと、VR内で場面を変えたり光線を出したりするボタンが付いた専用のコントローラー。紙や筆

がなくてもバーチャル空間に立体的な書を描くことが可能で、パフォーマンスを見る人は大型モニターを通してイメージを共有する。書道の海外発信に取

「リレッシュイノベーションズ」で優秀賞を受賞した藤田玉蘭さん(左)大阪市内で



「ワールド」の最終選考会では、100人以上の観客を前に藤田さんが創造をテーマにした映像と音の約3分間のストーリーに沿って、映画のように場面を切り替える「面白い」と好評だったという。

4月の大阪市議会(定数83)で当選した市議会の会派構成が7日決まった。大阪維新の会が40議席で第1党



などの書表現、優秀賞を受賞した。この1年間は機器の開発を進めながらフランスや香港のイベントに2人で参加、現地の人々の反応も「面白い」と好評だったという。

充彦さん(56)が昨年、現代の先端技術とその対極にある書道を組み合わせた舞台を提案。今年3月下旬に大阪

市北区で開かれた産業創出のイベント「ナレッジイノベーション」で、

共産「非交差

大阪市内で、共産党の市議員が交差点で歩行者と車の通行を妨げる行為を非難し、歩行者優先の歩道橋を建設するよう求めた。

共産党市議員は、市内の交差点で歩行者と車の通行を妨げる行為を非難し、歩行者優先の歩道橋を建設するよう求めた。